

会議名	令和7年度 第2回愛荘町健康づくり協議会 会議録
開催日時	令和8年2月24日(火) 13時15分から14時35分まで
開催場所	愛荘町立保健センター
出席者	<p>【委員】10人</p> <p>矢部隆宏 曾我幸史 西村ふき子 宇野久七郎 村西杏優 平野雅穂 村西範彦 (代)熊越祐子 (代)梅本都子 生田美孔</p>
欠席者	<p>【委員】</p> <p>小川俊子 中村恭子</p>
事務局	木村政策監(兼健康推進課長)・北村課長補佐・豊田主査・畑主査
傍聴者の数	0人
議題	○「健康あいしょう21(第5期)」計画について
審議内容	<p>○令和7年度の各機関の取組状況の報告</p> <p>○令和8年度の各機関の取組内容について</p> <p>○高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業について</p>
問い合わせ先	健康推進課 担当 畑 あやの 連絡先 0749-42-4887

令和7年度 第2回 愛荘町健康づくり協議会 会議録

日時：令和8年2月24日（火）午後1時15分～2時35分

場所：愛荘町立保健センター

出席委員：10人 事務局：4人 欠席：2人

1. あいさつ

矢部会長、木村政策監

2. 委員紹介

3. 報告事項

(1) 第1回愛荘町健康づくり協議会の結果について

矢部会長： 次第に従って進行していきたいと思います。

第1回愛荘町健康づくり協議会の結果について事務局の方から説明をお願いいたします。

(事務局から資料1に基づき説明)

矢部会長： ありがとうございます。今の説明について何か質問意見などはないでしょうか。働き世代については後で時間があるのですね。

(2) 「健康あいしょう21（第5期）」計画について

令和7年度の各機関の取組状況の報告

矢部会長： 続きまして、報告事項の2番目、健康あいしょう21第5期の計画について、令和7年度の各機関の取組状況の報告について、事務局から説明をお願いします。

(事務局から資料2に基づき、健康推進課の取組を説明)

矢部会長： ありがとうございます。何かご意見やご質問はないでしょうか。

平野委員： 愛知高校とのコラボでもう少し教えていただきたい。高校生に受診啓発をしてもらうのはとてもいいと思いますし、のぼり旗やキャッチコピーそのものの効果がどれくらいあるかというより、高校生ですから、子どもたちがいずれ30歳40歳になった時に、自分もがん検診を受けないと、と思ってもらえるのが一番いいと思うので、こうやって高校生にアプローチしていただいてありがとうございます。

日本女子大学と一緒にされているというのはどのようなことか教えてください。

事務局： 愛知高校と日本女子大学と一緒にされていて、保健体育の授業の主体を大学の先生がサポートされて、誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくりという教育指導要領に入っている内容について取り組んでおられるという経緯があり、そこに自治体を巻き込んでいこうということで、愛荘町の健康推進課にお話がきました。何が出来るか一緒に考えて、やることになったという次第です。特にがん検診のことについて大学の先生がいろいろな啓発や受診

率の向上に取り組んでおられるということで、特にがん検診を中心にということで今回一緒にさせていただいています。

平野委員：ありがとうございます。ぜひ今後も高校生による啓発もそうですが、高校生への啓発という意味もあるかと思しますので、今後もコラボを続けていただければと思います。

矢部会長：他に何かないでしょうか。

令和7年度の各機関の取組状況の報告となっておりますので、取組状況についてご発言を頂戴したいと思います。名簿順でお願いします。

まず健康推進員協議会の西村さん、よろしくお願いします。

西村副会長：毎年事業として6つないし7つくらいしています。平和堂愛知川店や秦荘店で野菜を食べましようとか、食育の日に毎日ちょっと見直してくださいというチラシを配って町民の皆さんに啓発しています。66かまど祭には毎年参加していて、参加することで町民のみなさんに健康推進員の活動をしていることを知っていただける機会が増えました。愛知高校の食育は、7月に1年生100人あまりの生徒さんにさせていただきました。今年も高齢者のサロンを9月にさせていただいて、話だけでは忘れてしまわれるので、高齢者のフレイル予防を寸劇形式でしました。来年度もしたいと思っています。今年は国スポ・障スポではおもてなしで4日間参加させていただきました。県外からたくさん来られて、ふれあいをさせていただいて、いい機会でした。それに伴った研修を何度か受けましたが、とても心に残っているのが普段の手洗いがなんていい加減だったのだろうと知り、これはもっと皆さんにPRしなければならないと思いました。日本航空の客室乗務員さんからおもてなしについてお話を聞かせてもらい、いい勉強させていただきました。

愛知高校のキャッチコピーの選考に参加させてもらい、健康推進員をしたらこういう機会が与えられて、今年はいいい勉強をさせていただきました。

矢部会長：いろいろと活動していただいている。ですが前は人材のことを言っておられましたね。

西村副会長：辞められる方も増えて、新しい方が少なく、現在は一応27名の籍がありますが、実際活動しているのは20名あまりという状況です。

矢部会長：ありがとうございます。

続きまして、愛荘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会で、宇野さんよろしくお願いします。

宇野委員：国スポ・障スポではお世話になりありがとうございました。無事終了しまして、少年女子が優勝、少年男子が準優勝、総合優勝することが出来ました。皆さん、ありがとうございました。

特定健診を無料化にすること、事前に悪いところを見つけやすいようにということで、人間ドック費用の補助金増額ということをお金の面になります

が、そういう部分で協力しようと話を進めております。口腔に対することも取り組んでよかったという話もしておりました。

矢部会長： 特定健診の無料化で、具体的な効果はありましたか。

事務局： 特定健診を無料にしたところで大きく差はなかった状況です。

ここ5年ほど40～50%の間を推移していますので、今年度については過去5年間未受診の方250人に訪問して、お出会い出来たのが50人くらいで、その中で20%ほど上がっているのがありますので、個別にまわりながら受診を促していこうと思います。

特定健診の受診率は、県下では4番目に高いです。

木村政策監： もともと高い受診率で、無償化したもののそれ以上にはなっていないですが、維持は出来ています。特定保健指導も県下で4番目くらいに高い位置にある状況です。

矢部会長： 無料ですとちょっとお得感があると思うんですが、そうでもないんですね。

事務局： 働いている方が増えていて、職場で受けておられて、報告いただかないとカウント出来ないのです。

矢部会長： 特定健診ではレントゲンや心電図がないので、レントゲンないのですかとかよく言われます。そのあたりがね。

続きまして小中学校養護教諭代表で村西先生、よろしく願いいたします。

村西委員： 栄養や食生活の面では、給食センターの栄養士さんから小学校を中心に食育指導をしています。アルコールやたばこ、歯科口腔に関しては、歯科衛生士や外部の方に講師に来ていただいて、薬物乱用防止教室を開いたり、子どもたちにアルコールやたばこの害や歯科口腔の健康を保つことの重要性について学ぶのを今年もしています。保健だよりや掲示物を通して、子どもたちに知識について情報提供をしています。

休養、心の健康という面では、教育相談期間を毎学期もって、担任と面談をしたり、希望する生徒や保護者に対してはスクールカウンセラーの時間を設けて、定期的にカウンセリングを受けていただいたりしています。

性教育に関しては、小中学校ともに助産師を招いたり、性に関する医師を招いたりして、子どもたちに正しい知識や性についての情報提供をしています。

矢部会長： ありがとうございます。

続きまして愛荘町商工会青年部から村西さんお願いします。

村西委員： 健康推進課と連携しながら、健康推進員としてのテーマで職域での連携というところがテーマとしてありまして、それをベースにいろいろな取組を検討しました。それが資料3にあるとおりで、一度私の方でも健康推進課のお2人とミーティング等々を7月の健康推進会議の後にさせていただきました。具体的には9月30日にヒアリング、ここでこういう事業をしてみてもどうかという私の方から提案を含めてした結果、今回はヘルスアクションという

名をもって、滋賀県がもともと取り組んでいるピワテクアプリがあります。ご存じですか、皆さん。登録されている方はいらっしゃいますか。

曾我委員：登録はしているが使っていない。

村西範委員：すごくおもしろいアプリで、私も皆さんに登録されている方いますかと聞いていたら、1名だけいました。私の母でしたが。万歩計とスマホが連動していて、スマホを持って歩いていたならその万歩計の数がどんどん貯まっていったり、毎日何歩歩いたかというのでポイントが貯まっていったり、バーチャルラリーというのがあって、いろいろなテーマがあって、歩数を稼いでポイントを貯めていくというのが、もともと滋賀県の取組としてあったみたいです。それを今回の愛荘町の職域向けの健康推進という意味でのあいしょうヘルスアクションに利用しようということになりました。

せっかくなら、職域、私も含めてですが、商工会の一会員ということもありますし、愛荘町の中で事業所の団体は商工会しかありません。ですので商工会向けに取組を案内したいよね、ということで、11月25日に商工会やいろいろな団体にチラシの配布をしてもらえるかという依頼を出しました。12月にあいしょうヘルスアクション実施要領、こういう内容になりますよというのが出てきて、12月9日にチラシが出来たので、みんなに説明しようということで、商工会青年部の全体会議に木村課長と北村さんに来ていただいて説明していただきましたが、案の定誰も登録していませんでした。ヒアリング結果というところで、商売人の集まりなのでメリットがないことはなかなかやらない。健康とは逆のようなことばかりしている連中なので、何か得の部分がないと難しいというのがありました。案の定大した反応もなく申し訳なかったです。北村さんから反応ないということを知り、年末に聞いて、年明け1月5日に北村さんと私で主要な商工会の会員の事業所に行ってきました。資料を持って、登録してくれと。それで何社か登録してくださいました。その後の取組は存じ上げなかったのですが、商工観光課の企業訪問でチラシ配布や、国スポ障スポ解散式でチラシ配布、広報あいしょうにも入ってましたし、いろいろなところでこのチラシは出回っているかと思えます。アプリを見ても愛荘の登録者数が増えているかはわかりませんが、登録されている方もたくさんいらっしゃるように思いますので、必ず今日皆さんは登録をして帰ってください。お願いします。

個人の登録はもちろん、グループで登録をしていただいて、ランキング上位に行けばグループの名前のPRになりますし、当然ながら健康になるための取組なので、会社の宣伝にもなって、健康にもなれて、何かもらえるというすごくいい事業だと思うので、ぜひ。事業としては1から3月まで、まだまだ時間ありますので、必ず登録してください。

ポイント貯まっていくのはすごく面白いです。バーチャルラリーもいろいろ

ある。日本一周とか愛荘一周とか、例えば滋賀県内の各名所をまわったら15ポイントもらえるとか。そこを勉強しながら、歩きながらポイントを貯めて、僕も800ポイントくらい、最初登録したら500ポイント貰えるので、実質300ポイントくらいですが、3000ポイントの人とかいて、どうしたらあれだけ貯められるのかと思いますが、健診受けたら何ポイントとかゲーム性があって面白い取組なので、僕はイベント期間外でも遊ぼうかと思っているので、ご理解とご参加をお願いします。

事務局：村西さんとのヒアリングの中で、働いている世代の方に対して健康づくりと言っても何もメリットないよ、という話が刺さってきまして、どのように一緒にやっていくのがいいのか、健康経営という視点やイメージアップにつながるようにというようなことがものすごく大事になってくるということで、広報に載せたり、グループ名を企業名にすると参加者として広報や私たちが作るような通知文にも使っていただくことが出来るということで、私たちとしてはあまりそういうことが企業にとってメリットと感じたことはなかったのですが、そういうことが出来るとわかりましたので、予算もない中で、載せることでイメージアップにつながるということで企業の収益や雇用の安定につなげていけるといいのかというところを進めていきたいと思っています。

この事業ですが、上手くいけば継続して、もう少し反響の出るようなところ、かまど祭での表彰式なども今後視野に入れて次年度取り組んでいきたいと思っております。アイデアありましたら教えていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

村西範委員：今年度第1回で、また来年度に第2回という形になると思いますが、66かまど祭は商工会青年部主体のイベントなので、第2回の表彰はそのステージを利用して行いたいと思っています。必ずしますので、そこに向けて第2回はもう少し参加者を増やして、それなりに認知されるような事業に育てていければと思っています。

矢部会長：ありがとうございました。これまでにないような取組ということですね。優劣をつけたら悪いですが、働き世代の健康づくりが一番大事だと思います。そういう取組を実際の年代の方からプッシュしていただければ、本当に嬉しいです。ありがとうございました。愛荘町図書館からよろしくお願いいたします。

梅本代理：令和7年度は、健康推進課から報告がありましたとおり、8月からからだの自由研究、1月に親子運動教室ということで連携した行事を開催しました。毎月健康推進課から健康月間や週間に合わせたチラシの配布、ポスター等の設置、健康ライブラリに合わせた資料の展示などを図書館でしています。さまざまな病気や健康に関する資料の収集、提供もしています。図書館からの報

告は以上です。

矢部会長：ありがとうございます。給食センターから生田さんお願いします。

生田委員：年間2回食育セミナーと、夏休み親子料理教室を開催しました。6月に食べることの大切さ、テーマをおやつについてということで、JAの女性部会の方にお越しいただいてお話をさせていただきました。12月に大阪ガスさんに来ていただき、防災食についてということで、実際に紙でお皿を作って、パスタ作りをしました。夏休みには地場産の野菜を使った朝食作りということで、親子料理教室を開催しました。また、年間を通じては、幼稚園、小学校、中学校の方に対して食育指導を実施しています。今年度は特にデジタル教材でいうところで、DVDの作成やその中でも調理実習、保護者向けのアプリがありますが、そこでもいろいろなメニューの紹介を行ったりして、令和7年度はデジタル教育に力を入れながら実施しました。以上です。

矢部会長：ありがとうございます。食事の物価上がっていますが、レベルを落とさずにされていますか。

生田委員：年々、例えばデザート回数が少し減ったりはしていますが、なるべく落とさないようには努力はしています。

矢部会長：ありがとうございます。曾我先生、お願いします。

曾我委員：妊婦の歯科健診に加えて特定健診受診者へ歯科受診を勧めてもらって、町内歯科医院5件で歯科健診をやっています。資料5ページに76名受診とありますが、母数は670名ということですね。そうすると受診率は13%でそこまで多くはないけれど、そんなものかな、というところです。

フッ化物洗口も今年から中学校も入りまして、小学校のうちは1年生からするので抵抗が比較的ありませんが、中学校になると環境も変わるし、各中学校秦荘と愛知川で設備、水道の場所も違ったりというのがありますし、お子さんは難しい年ごろでなかなかやってくれないというのが問題としてありますが、何とか中3までやっていけたらという方向でやっているところです。

66かまど祭で歯科健診はずっとやっていましたが、昨年度はここの前でやっていたので準備などもやりやすかったというのがありますが、今年は秦荘だったので難しく、2年に1回こちらでやるときは準備が比較的スムーズに出来るので、やろうかと、次年度はする予定はしています。

村西範委員：66かまど祭の歯科健診、ラポールでするとなると何が障害でしょうか。

曾我委員：障害というか、こちらの方が便利。デスクや照明器具などを持っていくのが。

村西範委員：毎年変えていくかどうかはまだ1つの案で、会長らが最終的にどうするか決めるので、便利さでいうとラポールの方が駐車場のからみもあって、今後向こうで開催する可能性の方が高いです。ただ歯科健診なども僕らとしてはやっていただきたいので、もし秦荘側でこういうことを助けてほしい、サポートしてもらえれば出ていいよ、とうことであれば言っていれば僕らも

協力させてもらいますし、せっかくなのでしていただいて、秦荘の方でも来ていただけるとありがたいです。

曾我委員： 検討します。

矢部会長： これまでの取組について発言していただきましたが、湖東健康福祉事務所の健康づくり担当から熊越さん、何かご意見などありましたらお願いします。

熊越代理： 意見ではないですが、保健所では事業所に健康情報を発信しています。そこに市町の健診情報なども添付して、事業所の方で健診等の機会のない方に利用していただけるように発信はしていますが、それをどれくらい利用されているかは把握出来ていません。保健所では給食施設の指導もあるので、給食施設をもつ事業所、今年度は4か所に行って、その健康づくりの状況や、特に今年度はメンタルヘルスの状況に関してヒアリングして、企業と何かコラボで出来ないかということ相談しています。4か所のうち1か所は愛荘町内の事業所ですので、すぐというわけではないですが、来年度以降呼び掛けていきたいと思っています。

矢部会長： ありがとうございます。平野先生何かありましたらお願いします。

平野委員： 今日発表してくださった職域連携、なかなか他の自治体でも出来ないことをこれだけの熱量でやってくださって、企業さん当事者がやってくださるとこれだけ違うかとびっくりしています。ぜひ今後とも愛荘町と一緒にやっていただけたらすごくいいものが出来そうなので、ありがとうございます。

4. 協議事項

(1)「健康あいしょう21(第5期)」計画について

令和8年度の各機関の取組内容について

矢部会長： 続きまして次第2の協議事項にいききたいと思います。

健康あいしょう21第5期計画について、令和8年度の各機関の取組内容について皆様のご発言をお願いします。

西村副会長： 令和8年度も令和7年度と同じような取組になりますが、継続して、まだ2年3年くらいしか計画を立てていませんので、引き続き同じような内容ですがやっっていこうと思っています。

宇野委員： 引き続き同じようにしますが、人間ドックで今年74歳になる人には2万円の補助をする、限定はしますが、特に後期高齢者に入る前に人間ドックに行ってもらえればいかなと考えております。以上です。

矢部会長： 早期発見も大事。見つかったら仕方がないという病気もありますが、大半は早く見つければなんとかなると思います。

村西委員： 小中学校の方でも引き続き健康に関する内容は外部機関と連携をとりながら、講師を招いたり、引き続き子どもたちに情報提供をしていければと思っています。その中でどういう内容を学ぶかで子供たちの聞く・聞けな

いが変わってくるので、講師と連携しながら、どういう風に伝えれば、例えば全体でとか、クラスごとに分けるなど内容を何個か設定して、興味のあるテーマごとに子どもたちが話を聞きに行けるようにするであったり、そういう細かな部分を講師と連携しながら取り組んでいけたらと思っています。

今年度から中学校で1年生のフッ化物洗口が始まっていますが、継続で次の中1もフッ化物洗口していくということで、どういうふうになっていくかわかりませんが、中学2年生は希望者という形になるので、今の1年生の子が2年生になってだいぶ人数が減るのではないかと考えていますが、引き続き中学校でもやっていければと思います。保健だよりを通して子どもたちに健康に関する知識の情報提供をしたり、日常の中で保健指導を実施していければと思います。

村西 範 委員： 継続して今回の大テーマである職域連携の中で、あいしょうヘルスアクションというのを来年度以降も周知していきたいというところと、ムーブメントになればいいと思いますし、いろいろなトライ&エラーが必要かと思いますが、工夫しながら息の長いイベントにしていければと考えております。

梅 本 代 理： 図書館も今年度と同様に、健康に関する資料の収集、提供をしていきたいと思っています。

矢 部 会 長： 健康本などの貸出は多いでしょうか。

梅 本 代 理： よく借りていただいています。

生 田 委 員： 継続的に食育をしていく中で、毎月噛み噛みメニューというのがありますが、健康推進課で噛む COME+10 の啓発をされているというところから、メニューに噛み噛みメニューを月2回くらいに出来るように内容を検討していて、8年度も引き続き頑張っていきたいと思っています。

曾 我 委 員： 来年度も引き続き健診を増やしていきたいと思っています。フッ化物洗口は効果が結構出てきていますので、継続してやっていければと思います。

矢 部 会 長： データ上でだいぶ減っているのですか。フッ化物洗口前は結構悲惨な数字でした。

事 務 局： 3歳半は県下で一番少ない状況でした。3歳半はフッ化物洗口とは関係ないですが、愛荘町全体で虫歯の数は減ってきています。今の中一の子と中二の子で結構差が出ています。

矢 部 会 長： 熊越さん、改めてご意見ありますか。

熊 越 代 理： 保健所としては来年度もう少し職域の方との連携を具体的な取組をやりたいと思っています。圏域の地域職域の皆さんで話し合うようなプラットフォームが、以前はありましたがコロナ以降その場も設けてい

ないので復活させていきたいと思います。

個人的にビワテクを昔から使っていて、愛荘町の施設も個人的には使っています。ウォーキングのイベントなどももっといろんな人に知っていただければいいなと思います。

平野委員： 愛荘町は職域をはじめ、皆さんひとりひとりがプレーヤーになって頑張っている、すごいなと思っています。フッ化物洗口の成績の差というのは、湖東だと彦根市が出来ていませんが、さらに差があきそうで、やるとやっぱり良くなるので、彦根市はどれだけやらないでいられるか心配しています。大人になってから自分の生活を変えるのは難しいので、子どもの頃からの食事にしろ、健康にしろ、歯のことにしろ、小さな頃からの積み重ねだと思うので、今こうしてみんなでやっていることが20年後、30年後の愛荘町をつくっていくのだらうと思います。

給食センターのメニューに噛み噛みメニューというのは固いものですか。

生田委員： 例えばサラダにスルメを加えたり、大豆メニューを増やしたり、噛まないで食べられないもののメニューを増やすというところですか。

平野委員： そういうことをやっているのは愛荘町だけですか。

生田委員： 近隣でもされていると思います。健康推進課が噛む COME+10 で栄養教諭が1回のところ2回にしていいかと相談しているところですか。

矢部会長： 他に何かないでしょうか。

事務局： 村西さんからご報告いただいたヘルスアクションについて何かご意見いただければ。

村西範委員： 必ず登録して帰ってくださいね。

平野委員： ビワテクは景品がもらえるということ、プラス愛荘町が表彰するということですか。

村西範委員： ビワテクの中で地域別などでランキングが出ます。

事務局： アプリを登録していただいて、ぜひ湖東健康福祉事務所でグループを作成していただいて、グループを作ったということを愛荘町のグラファーで登録していただくのが必要になります。

村西範委員： ビワテクだけであれば、誰でも取り組めるアプリですが、愛荘町はそこにプラスアルファでグループ登録して、グループで競うという部分が愛荘町としての取組です。グループを作らないことには、ただ BIWATEKU のアプリでポイントを貯めるだけとなります。

最初登録した時は、上手く動作しないなどいろいろ問題もありましたが、それもだいたい改善したみたいで、それなりに精度の高いものになりつつあります。

事務局： 個別的に操作をしていただければ問題ない。

村西範委員： 2回目はもうちょっと円滑にいけると思っています。
ビワテクのアプリ自体は本当におもしろいアプリです。

矢部会長： 議事進行にご協力いただきありがとうございます。では事務局に戻します。

3. その他

(1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業について

事務局： 次第3その他に移ります。

資料4 高齢者保健事業と介護予防の一体化事業について説明します。

(事務局から資料4に基づき説明)

次回の会議について、来年度6月くらいを予定しておりますので、近づいてまいりましたら早めに皆様のご予定をお伺いさせていただきたいと思えます。

本日皆様から頂きましたご意見等を踏まえまして、関係機関、団体様と共に連携を図りながら、健康づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

これで閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。